

原発事故の避難者受け入れ

会津若松市・本光寺に一時30人生活

福島県会津若松市の

市の小学校体育館など

で寝泊まりした。

本光寺(沖井玲爾住職)に多くの被災者が避

電気や水道などライ

フライング確保されて

は、東日本大震災によ難。同寺は大地震で納

骨堂などに被害が出た

いるため、最初の食事

を余儀なくされた人たちに本堂などを宿泊場

が、「被災者支援のた

めに少しでもお役に」

所として提供した。

と受け入れを始めた。

い求め、22日にすべて

原発事故で周囲30キロ

相馬市などから家族單

位で避難してきた30人

が、22日朝まで本堂な

を送った。

と思うだけ支援していく
たい」と話している。
21日には彼岸会にあ
は同寺が提供、その後
は被災者がそれぞれ買
い求め、22日にすべて
スカウト、避難した人
たちが参拝し、復興に
向け共に歩んでいくこ
とを誓った。

同寺の沖井智子坊守
は「いつになつたら家
に帰れるか予想もつか
ない人たちの苦しみを